

第 29 回 運転管理検討会 議事録

1 . 開催日時：平成 23 年 1 月 19 日（水）13：30～17：00

2 . 開催場所：日本電気協会 4 階 A 会議室

3 . 参加者 （順不同，敬称略）

委員：幅野主査（東京電力），市川（電源開発），大和田（東京電力），坂元・久保田（日本原子力技術協会），斉藤（北海道電力），瀧澤（東芝），中林（三菱重工業），名知（日本原子力発電），古舘（東北電力），松本（原子力発電訓練センター），三屋（関西電力），宮北（BWR 運転訓練センター），睦浦（中国電力），村田（日立 GE ニュークリア・エナジー） （計 15 名）
代理出席者：稲富（九州電力・河津代理），井川（中部電力・嶋本代理），岩田（四国電力・村上代理） （計 3 名）
欠席：大島（北陸電力），金子（原子力安全・保安院） （計 2 名）
事務局：大滝（日本電気協会） （計 1 名）

4 . 配付資料

資料 29-1 第 28 回運転管理検討会 議事録（案）

資料 29-2-1 JEAC4804-201X「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」改訂案に関する公衆審査意見対応表

資料 29-2-2 JEAC4804-201X「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」（案）

資料 29-3 原子力発電所運転責任者実技試験用シミュレータに係る規程の制定について

資料 29-4 原子力規格委員会 運転・保守分科会 平成 23 年度活動計画（案）

参考資料 1 運転管理検討会委員名簿

参考資料 2 第 21 回運転・保守分科会議事録（案）

参考資料 3 第 39 回原子力規格委員会議事録（案）

5 . 議事

（1）会議定足数の確認について

検討会主査により，委員総数 20 名に対して本日の出席委員数は，代理委員も含めて 18 名で，検討会決議に必要な委員総数の 2/3 以上の出席が確認された。

（2）代理参加者及びオブザーバ参加者の承認について

上記，代理出席者 3 名の会議参加について，検討会主査から承認された。

（3）前回議事録（案）の承認

資料 29-1 の第 28 回運転管理検討会議事録（案）については，事前に各委員に配布さ

れ、特にコメントはなかったことが事務局より紹介され、承認された。

(4) 第21回運転・保守分科会議事録(案)及び第39回原子力規格委員会議事録(案)の紹介

事務局より、参考資料2,3に基づき、第21回運転・保守分科会議事録(案)及び第39回原子力規格委員会議事録(案)が紹介された。

- ・11月15日から1月14日の期間で公衆審査実施中であるが、2名の方からご意見をいただき、その対応とする規格案の修正案を運転管理検討会で作成し、運転・保守分科会に上程した
- ・当該修正案を運転・保守分科会で審議し、その後実施された書面投票で反対票はなく、賛成(その他)の意見もなく投票数の3分の2以上の賛成を満足して可決された
- ・原子力規格委員会で当該修正案の審議は、まず、今回提案された規格案の修正を行うか否かについて挙手で決議し、4/5以上の賛成で可決された場合は、エディトリアルを超える修正なので再度書面投票の実施を経て、再度2か月間の公衆審査を実施するプロセスで扱うこととなった
- ・今回提案された規格案の修正を行うことについて決議したところ、賛成16名、反対11名、保留2名となり、全出席委員の4/5を超える賛成を得られず否決された。したがって、今回提案された規格案の修正は行わないこととなった
- ・公衆審査意見対応を次回の原子力規格委員会で審議し、発刊準備することになる
なお、11月15日から1月14日までの公衆審査において、これまで確認している2件の意見以外の新たな意見はなかったことも、事務局より紹介された。

(5) JEAC4804改訂案のパブリックコメント対応について

大和田委員より、資料29-2-1 JEAC4804-201X「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」改訂案に関する公衆審査意見対応表に基づき、原子力規格委員会の書面投票において同様のコメントをいただき、その時に対応を十分検討しているため今回の対応は不要としたこと、及び今後の運用や各社の合否判定規程見直しの状況を見て、必要に応じて検討することが紹介された。

資料29-2-1の公衆審査意見対応表について、以下のコメントに記載されているとおり修文したものを次回の運転・保守分科会の審議に上程することを全員の賛成により承認された。

各委員から出された主なコメントは以下の通り。

- ・「原子力規格委員会の書面投票においても同様のコメントをいただいております十分検討して結論づけていることから対応不要と判断しました」において、「十分検討して結論づけている」では言い過ぎているのではないかと。
「原子力規格委員会の書面投票においても同様のコメントをいただいております、以下の通り対応しております」に修文する。
- ・慎重を期するため、このような方向で間違いがないか、運転・保守分科会の前に関村委員長に確認することができるか。

事務局が、別件で関村委員長に会う機会があるので、その時にこの方向性で間違いないか確認する時間があれば確認する。もし、その時間が無かった場合は、メールで確認することとする。

(6) シミュレータに係る規程の制定スケジュールについて

坂元副主査より、資料 29-3「原子力発電所運転責任者実技試験用シミュレータに係る規程の制定について」に基づき、シミュレータ規格の作成作業を作業会で急ピッチに進めているが、次回分科会で中間報告する状態まで至っていない状況であるため、分科会に対してスケジュール変更する状況報告することとし、そのスケジュール変更案と原子力発電所運転責任者の判定に用いるシミュレータに係る規程(案)について紹介され、原案通りで運転・保守分科会に上程することとなった。

各委員から出された主なコメントは以下の通り。

- ・原子力発電所運転責任者の判定に用いるシミュレータに係る規程(案)を運転・保守分科会に提示する時も、今回と同じようにコメントや修正箇所の色分けされたものを使用するのか。

今回提示したものは、作業状況が分かるように変更履歴を付けたままのものとしたが、運転・保守分科会に提示する時はコメントや変更履歴を削除し、通常の規格同等の体裁のもの準備する予定である。

- ・原子力発電所運転責任者の判定に用いるシミュレータに係る規程(案)について、現在、箇条書き形式のものと表形式の2種類あるということだが、そのうち箇条書き形式のものを運転・保守分科会に提示した後、最終的に表形式のものに変更された場合、各委員からそのことについてコメントを受けることはないか。

箇条書き形式のものと表形式のもので、記載している内容が変わるものではない。

今回は進捗状況を示すものなので、今後表現方法が変わることはあり得ることで、そのことに対する影響は少ないと考えている。

(7) 平成23年度活動計画(案)の作成

坂元副主査より、資料 29-4「原子力規格委員会運転・保守分科会平成23年度活動計画(案)」に基づき、JEAG4802-2002 原子力発電所運転員の教育・訓練指針及び JEAC4804-2008 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程の平成22年度活動実績及び平成23年度活動計画/中長期活動計画(案)について紹介された。

JEAG4802 原子力発電所運転員の教育・訓練指針の平成22年度活動実績欄に記載されている「中間報告の実施」を削除し、更に以下のコメントに記載されているとおり修正したものを次回の運転・保守分科会の審議に上程することとする。

各委員から出された主なコメントは以下の通り。

- ・JEAC4804 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程はエンドースを目指す、そこに呼び込まれている JEAG4802 原子力発電所運転員の教育・訓練指針、新規に作成するシミュレータ規格はエンドースされなくてもよいのか。

上位の規程がエンドースされていても、そこに呼び込まれる下位の規程がエンドースされていないものはある。

- ・ JEAG4802 原子力発電所運転員の教育・訓練指針の平成 23 年度活動計画欄の「* 検討の進め方」に記載されている「 ベストプラクティスの抽出」は、どんなことをするのか。

「 ベストプラクティスの抽出」とは、教育訓練プログラムの標準化のベースとなるものを各社の状況から抽出するという意味であるが、「各社の教育訓練プログラムの調査 教育訓練プログラムの標準化」で総括できるので、「 ベストプラクティスの抽出」は削除する。

- ・ JEAG4802 原子力発電所運転員の教育・訓練指針の平成 22 年度活動実績欄に記載されている「作り手」は、誰を指すのか。

シミュレータメーカーを指す。

わかりにくいので、「シミュレータメーカー」に修正する。

(8) その他

- ・ シミュレータに係る規程の制定作業会の中心的役割を担っている東京電力の伊能(いよく)氏については、今後当検討会に常に出席することになるので常時参加者として申し出があり、全員の賛成で承認された。

以 上